

# 道路管理者と連携した ゾーン30プラスの早期整備

福岡県警察本部  
交通部 交通規制課

## 「ゾーン30プラス」 早期整備に向けた取組

### 早期整備のコンセプト

- ◎ 形にすることで効果を実感
- ◎ 広報することで他の地域へ拡大
- ◎ 整備が広がることで事故抑止と安心感を醸成



# ゾーン30整備状況



# ゾーン30整備箇所の事故抑止効果

整備年度別人身交通事故発生状況

整備年度	整備数	全事故				うち対歩行者・自転車事故			
		整備前年度	整備翌年度	増減	増減率	整備前年度	整備翌年度	増減	増減率
H23	1	19	3	-16	-84.2%	4	0	-4	-100.0%
H24	13	50	30	-20	-40.0%	11	10	-1	-9.1%
H25	45	229	191	-38	-16.6%	88	75	-13	-14.8%
H26	47	260	184	-76	-29.2%	124	100	-24	-19.4%
H27	37	209	135	-74	-35.4%	73	64	-9	-12.3%
H28	29	72	44	-28	-38.9%	21	22	1	4.8%
H29	16	50	22	-28	-56.0%	20	10	-10	-50.0%
H30	13	31	15	-16	-51.6%	16	9	-7	-43.8%
R1	9	17	9	-8	-47.1%	3	6	3	100.0%
R2	5	16	8	-8	-50.0%	11	5	-6	-54.5%
計	215	953	641	-312	-32.7%	371	301	-70	-18.9%

# 第5次社会資本整備重点計画

## 重点目標

持続可能で暮らしやすい地域社会の実現

## 具体的施策

車両の速度抑制や通過交通の抑制の徹底等による生活道路等における人優先の道路空間の形成

30km/h速度規制等の交通規制とランプ・狭さく等の道路整備を効果的に組み合わせた生活道路対策の推進

## 抑止目標

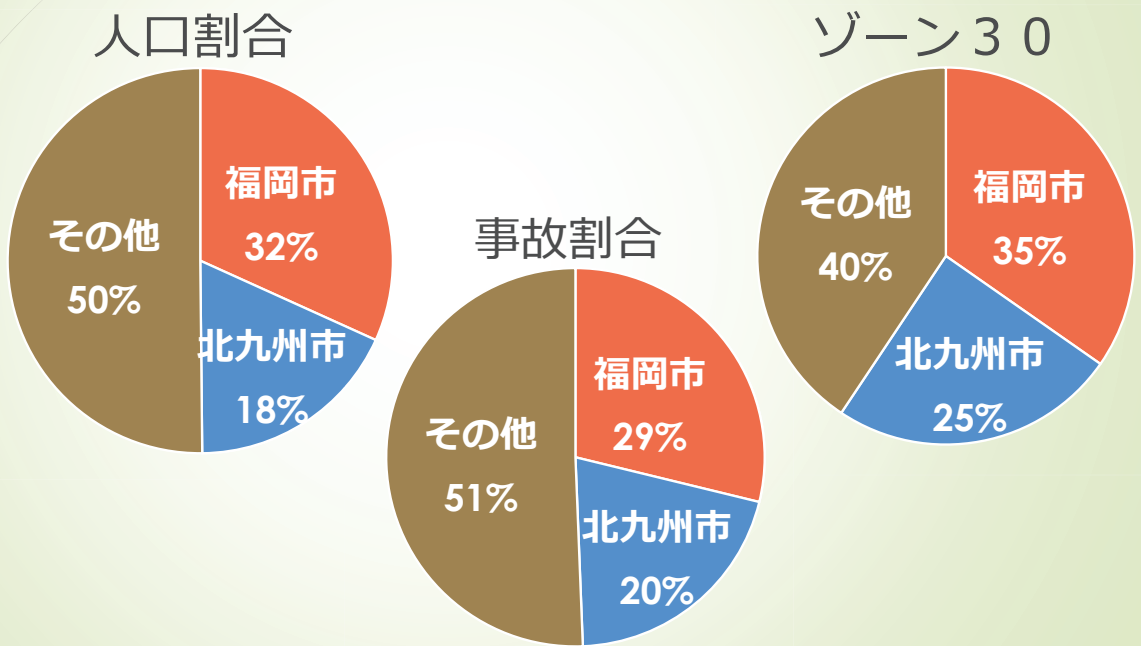
生活道路等の死傷事故抑止率

令和7年までに令和元年比 **約3割抑止**

# 令和元年中事故多発ゾーン30地区



## 政令市との調整



## 生活道路対策エリアとの調整



※R3.3末時点

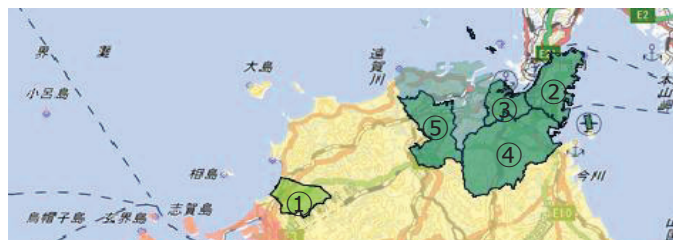
生活道路の交通安全の確保に向けた取り組み

# 整備地区の選定

## ゾーン30プラスの要件

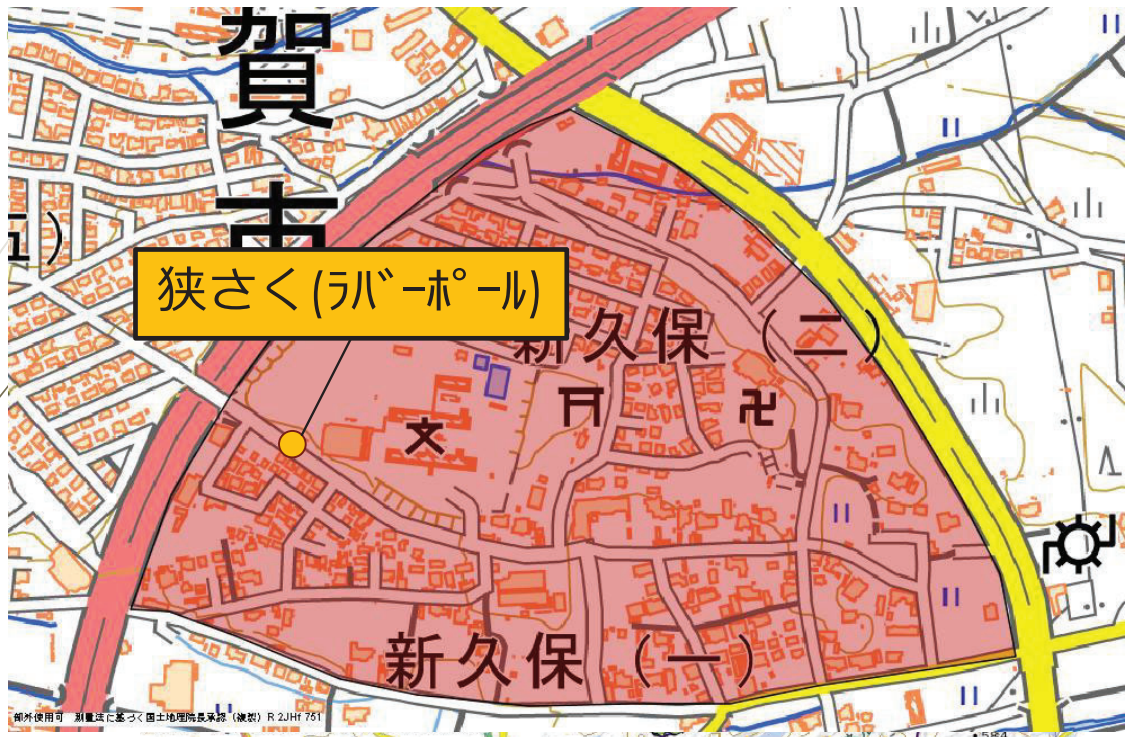
- ① 最高速度30km/hの区域規制
- ② 物理的デバイスの設置
- ③ 地域住民等の合意形成
- ④ シンボルマーク入り看板等の設置

## ゾーン30プラス整備地区（令和3年度）



- ① 古賀東小学校地区（古賀市）
- ② 柳町地区（北九州市門司区）
- ③ 中島地区（北九州市小倉北区）
- ④ 曾根東小地区（北九州市小倉南区）
- ⑤ 医生ヶ丘・千代ヶ崎地区（北九州市八幡西区）



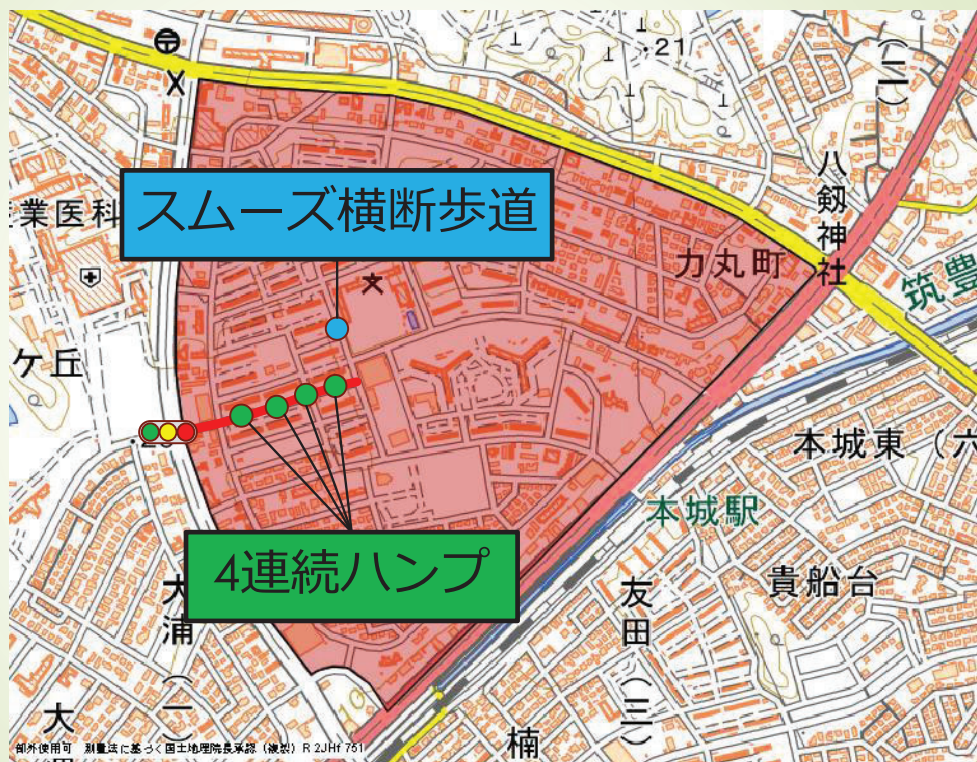


## 狭さく (ラバーポール) の整備状況





# ゾーン入口の整備状況





# スムーズ横断歩道の整備状況

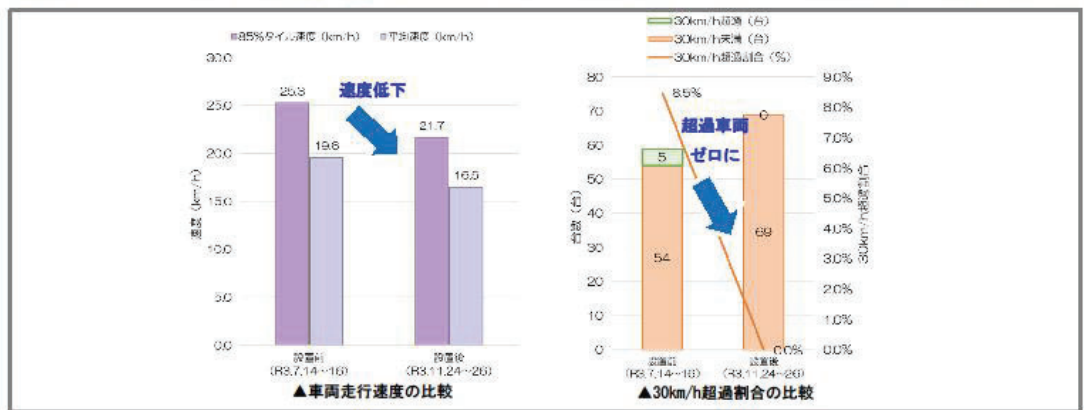


整備前



整備後

## ビデオ調査結果(速報)



※交差点流入部の単路区間となる北向きについて集計対象とし、  
交差点内部を通過する南向きについては集計対象外とした。  
※「横断歩行者優先の遵守率」については、効果計測の対象となる車両がいなかった

※出典：ビデオ調査結果  
・設置前：R3.7.14(水)~7.16(金) 7:00~9:00、14:00~16:00  
・設置後：R3.11.24(水)~11/26(金) 7:00~9:00、14:00~16:00



## 4連続ハンプの整備状況



## 入口表示の整備状況



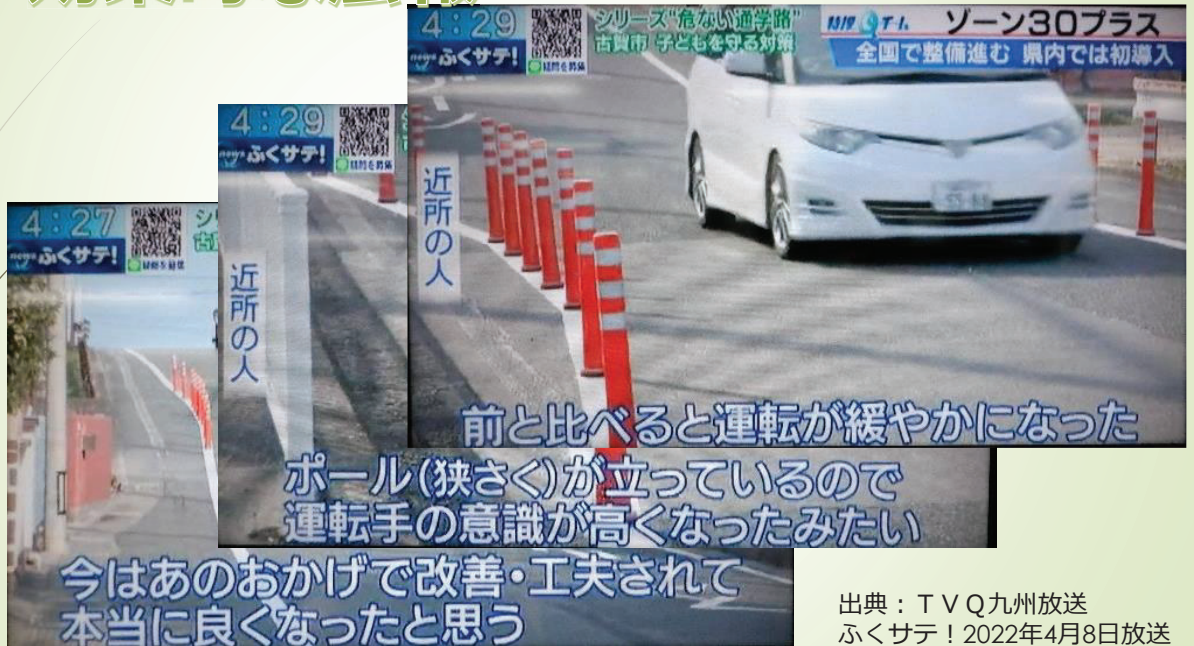
整備前

整備後





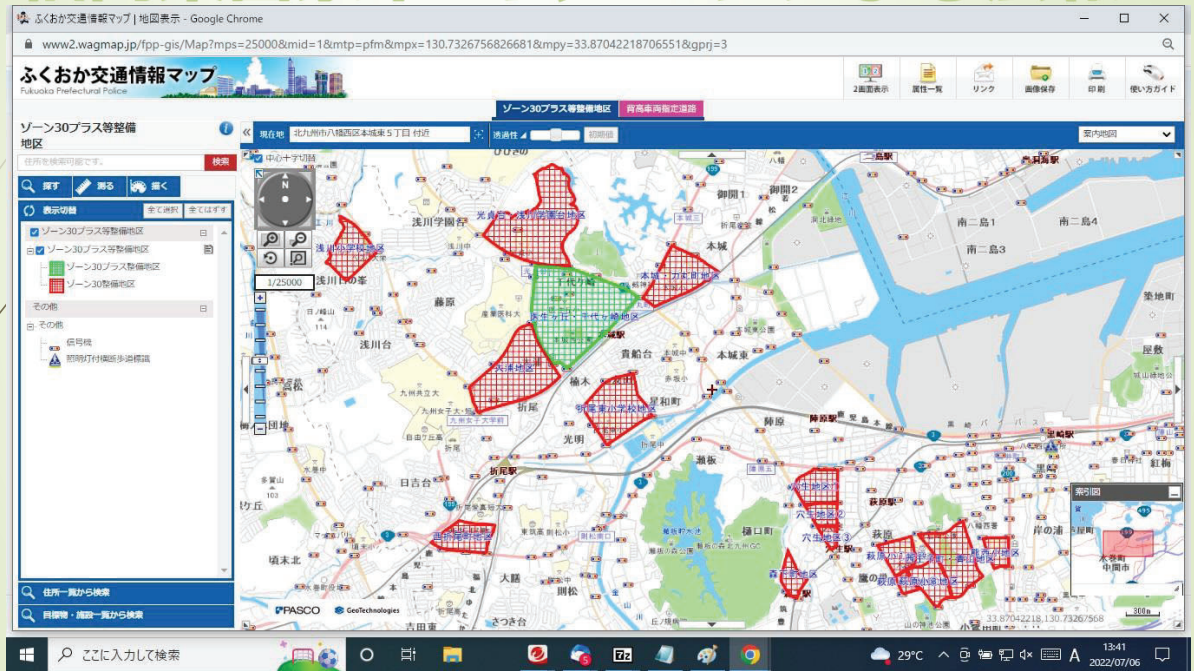
## 効果的な広報



## 保護誘導 & 啓発活動



# 福岡県警察ホームページによる広報



# おわり



ご清聴ありがとうございました。